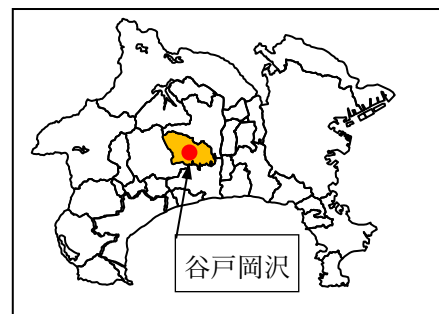


砂防指定地「谷戸岡沢」砂防堰堤新設工事の進捗状況について (令和8年6月末時点)

谷戸岡沢は、神奈川県伊勢原市三ノ宮地先に位置する流域面積が1.3km²の溪流です。流域内には谷止工などの治山施設が配置されていますが、溪岸崩壊等が発生しており、土石流発生の危険性が高いため、早急な対策が必要となっています。

そこで、県では、土石流による土砂災害を未然に防止するため、令和6年度に砂防堰堤の工事に着手して順次工事を進めており、令和8年度に砂防堰堤本体が完成する予定です。

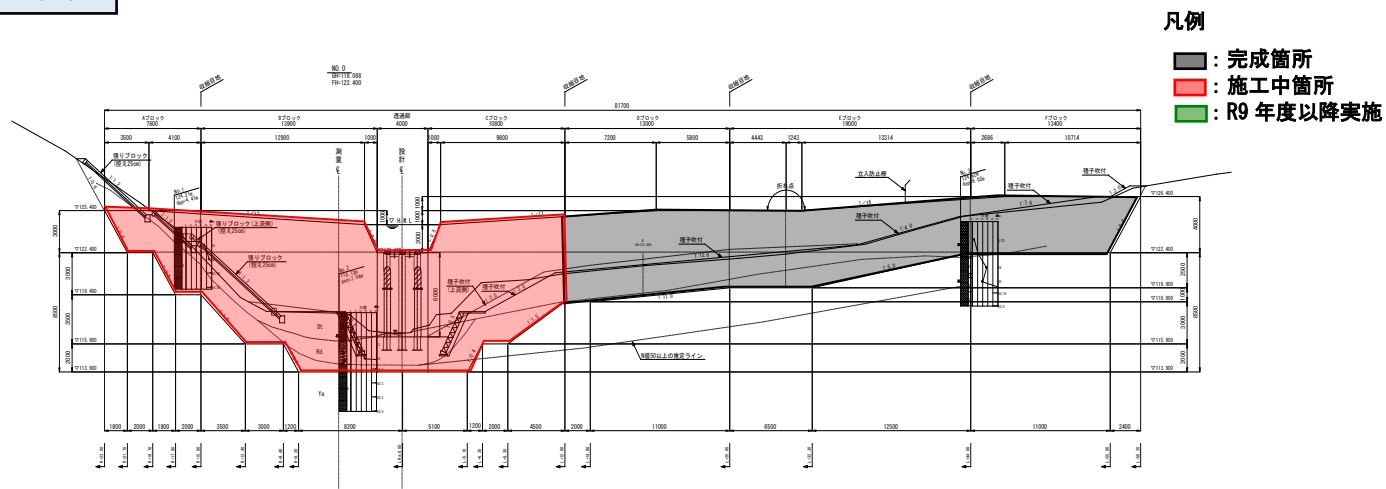
位置図



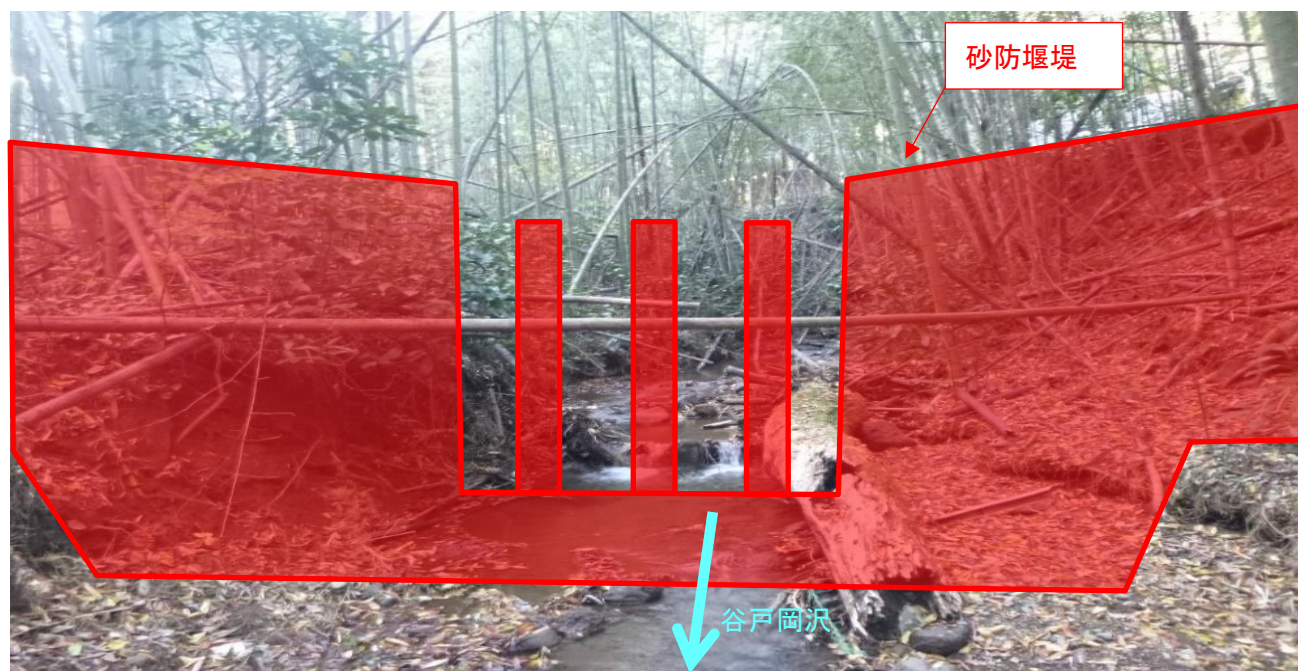
流域概要図



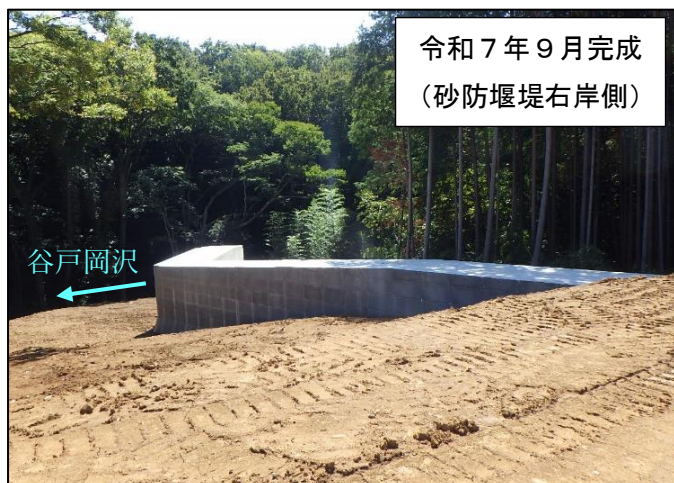
正面図



砂防堰堤完成イメージ



現在の状況



令和8年度の工事

令和8年度も引き続き、砂防堰堤の本体工事（中央付近～左岸側）を実施していきます

＜工事の進め方＞

- ステップ1 コンクリートを打設する場所の樹木を伐採し、掘削していきます。（写真①～④）
- ステップ2 コンクリートを打設するために型枠を組んでいきます。（写真⑥～⑦、⑨～⑩）
- ステップ3 コンクリートを打設していきます。（写真⑧）
- ステップ4 鋼製スリットを設置します。（写真⑪～⑫）



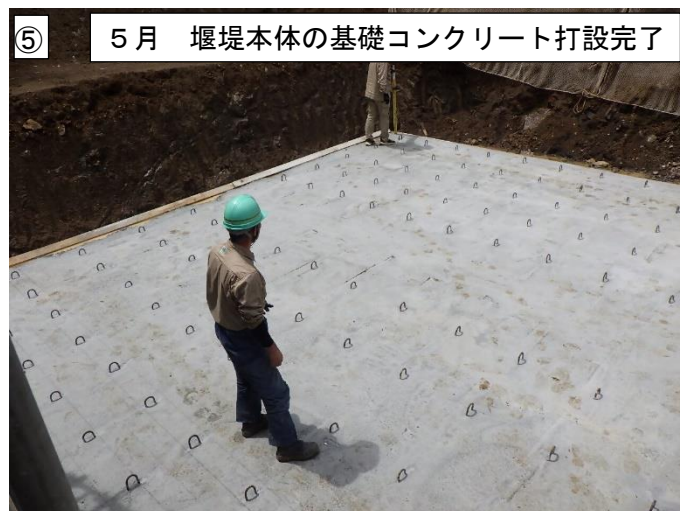
まずは木の伐採を実施していきます。



伐採後は、山を掘削していきます。



コンクリートを打つ一番下まで掘削が完了しました。



まずは、堰堤本体の一番下に基礎コンクリートを打設していきます。



基礎コンクリートの打設が終わったら、上に型枠を組んでいきます。



⑦ 5月 堰堤本体の型枠設置中



⑧ 5月 堰堤本体のコンクリート打設中

型枠が組み終わったらコンクリートを打設していきます。その後、また、その上に型枠を組んでいきます。この作業を繰り返して、堰堤本体の一番上までコンクリートを打設していきます。



⑨ 5月末 堰堤本体の3段目の型枠設置中



⑩ 6月末 堰堤本体の7段目の型枠設置中



⑪ 7月 鋼製スリット現場搬入



⑫ 7月末 鋼製スリット組立完了

こうした作業により、高さ約11メートル、幅約81メートルに及ぶ巨大な砂防堰堤を築造し、下流域への土石流災害を未然に防止します。